

吉林  
130

逾々清勝多方面涉り  
國家の爲め少盡力

を度賀あり述す小生に

いつも各般の世話のみ  
相成り感謝辭りしん

彌々此後九日

閣下を辭し歸縣

あり就ては存京中懇

取を蒙りたり神且告

別々各題起す情備

取と蒙りし中禮且告  
別とくく名超情緒  
儀陳の仕と據議會  
開會中交注とつと居  
る向への執禮及つと関  
係の會のつ教務等と驅  
られ殆んと親往向  
尋病の候是れとと人  
得る能つとつとにま  
甚以て存意せられ  
遺憾少からず  
得共はつとつと  
廿四歳會とつと  
直と存とつとつと  
謝り國の家の前  
多謝とつとつと  
厚く而自重所請  
るに悼

謝片國公使の前途  
多謝まゝ奉り  
厚く申白重所禱  
之に  
奥方様へ  
殿へ  
把筆  
也

頓首

四月七日

直彬

大隈侯様